

# 『いにしへの心』をカードに込め、 万葉集マップをつくり自分の考えを発信しよう

奈良市立済美小学校

石田 通大

## 1 ESD を生かした授業づくり

### (1) 単元名・学校種と学年

『いにしへの心』をカードに込め、万葉集マップをつくり自分の考えを発信しよう。

小学校 第6学年

### (2) 単元の概要

奈良市では、奈良市観光目標像として、奈良市の市民憲章には冒頭で「奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。」とうたっている。世界中から奈良市を訪れる観光客は「古都の空気」と「くつろぎ」が感じられる奈良に日本のふるさとを感じ、歴史・文化に触れ、人々と交流する中でその魅力を心に刻む。このような点を踏まえ、奈良市観光の目標像として次の3点を掲げている。

- ① 観光事業者だけでなく、市民を含めた奈良の人々全体が、奈良の魅力への深い理解のもと、あたたかいおもてなしの心で観光客を迎える体制をつくる。
- ② 奈良を訪れてこそ感じられる魅力・よさを守り、育てていくことで、これまでのリピーターを大切にしつつ、「奈良にしかない」魅力の発信を通じて新たな誘客を図る。
- ③ 魅力的な観光資源とおもてなしの心を持った人々に迎えられ、世界中から多くの人々が集い、訪れた人と迎える人、また訪れた人どうしの交流が進むように、必要な基盤を整備する。

(奈良市観光交流推進計画より)

このように「地域のたからもの」を「世界のたからもの」さらには、「みんなのたからもの」とし観光事業に力を入れていることがわかる。「古都奈良の文化財」といった世界遺産を味わおうと、平成28年に奈良市を訪れた観光客は、15543千人である。観光消費額としては、1013億円ともいわれ全国屈指の観光都市である。また、近年では世界中から人々が集まっている。しかし、それらの観光客のほとんどはメジャーな文化財の観光にとどまり、奥深く奈良をじっくり味わい、宿泊して帰宅するといった観光客は少ない。それらには、「宿泊先が少ない」「文化財を見てもよくわからない」などといった奈良側に原因があると考えられる理由を挙げている観光客もいる。

そこで、奈良市のHPに記載されている『万葉ゆかりの地をたずねて ～万葉歌碑めぐり～』に目を向け学習を展開したいと考える。

1000年以上の時を越えて、平城京に生きた人々の想いや、当時の風光を今に伝える「万葉集」移ろいゆく四季の姿に接しての感動、激しく燃え上がる人間の喜怒哀楽。それらをおおらかに歌っていることが多くの人々を引きつける魅力でしょうか。奈良市内にある数々ある万葉ゆかりの地を訪ねてみれば、私たちの心の原風景ともいべき万葉人の魂に触れることができます。

(冒頭のことば市制100周年記念要覧『奈良』より)

奈良市内には万葉歌碑が55箇所建立しており、そのほとんどが、重要文化財に隣接した場所にある。観光目的をメジャーな文化財目線から万葉歌碑目線へと移していただく事で、よりたくさんの方々に奈良市のたくさんの場所をめぐってもらえるのではないだろうかと考えるとともに、奈良の魅力への深い理解を得てもらえるのではではないかと考える。また、既存（ホームページ）の案内だけでは、下記のように写真と万葉句が記載されているだけにとどまっている。

そこで、子どもたちがそれぞれの万葉句に込められた意味や思い、願いをカードにまとめ1枚のマップに仕上げ、観光客に活用して頂くようにしていきたい。

 <p>奈良市登大路町 奈良県庁東側交差点 見わたせば 春日の野辺に 霞立ち 咲きにほへるは 桜花かも 巻10-1872</p>	 <p>奈良市登大路町 氷室神社 うらうらに 照れる春日に ひばり上り 心悲しも ひとりし思へば 巻19-4292</p>	 <p>奈良市雑司町 東大寺真言院 天皇の 御代栄えむと 東なる 陸奥山に 金花咲く 巻18-4097</p>	 <p>奈良市雑司町 東大寺大仏殿横 我が背子と ふたり見ませば いくば くか この降る雪の 嬉しくあらし 巻8-1658</p>	 <p>奈良市雑司町手向山 手向山八幡宮 秋萩の 散りの乱ひに 呼びたてて 鳴くなる鹿の 声の遙けさ 巻8-1550</p>
 <p>奈良市春日野町 春日大社北参道 秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花 巻8-1537</p>	 <p>奈良市春日野町 春日大社北参道 萩の花 尾花葛花 なでしこの花 をみなへし また藤袴 朝顔の花 巻8-1538</p>	 <p>奈良市春日野町 春日大社萬葉植物園 紫は 灰さすものぞ 海石榴市の 八十の衢に 逢へる子や誰れ たらちねの 母が呼ぶ名を 申さめ ど 道行く人を 誰れと知りてか 巻12-3101・3102</p>	 <p>奈良市本子守町 率川神社 はねかづら 今する妹を うら若み いざ率川の 音のさやけさ 巻7-1112</p>	 <p>奈良市中院町 元興寺 白玉は 人に知らえず 知らずとも よし 知らずとも 我れし知れば 知ら ずともよし 巻6-1018</p>



奈良市芝新屋町

奈良町資料館

白玉は 人に知らえず 知らずとも

よし

知らずとも 我れし知れば 知ら

ずともよし

巻6-1018



奈良市芝新屋町

元興寺・塔跡

故郷の 明日香はあれど

あをによし

奈良の明日香を

見らくしよしも

巻6-992



奈良市北天満町

瑜伽神社

故郷の 明日香はあれど あをによ

し

奈良の明日香を

見らくしよしも

巻6-992



奈良市白毫寺町

白毫寺

高円の 野辺の秋萩

いたづらに

咲きか散るたむ

見る人なしに

巻2-231



奈良市白毫寺町

奥山ドライブウェイ

展望休憩所

高円の 秋野の上の 朝霧に

妻呼ぶを鹿

出で立つらむか

巻20-4319



奈良市高畑町

新薬師寺・比売神社

川の上の ゆつ岩群に

草生さず

常にもがもな 常処女にて

巻1-22



奈良市鹿野園町

ケハス和楽園

春の野に すみれ摘みにと

来し我れぞ

野をなつかしみ 一夜寝にける

巻8-1424



奈良市鹿野園町

奈良佐保女学院短大

高円の 秋野の上の

なでしこの花

うら若み 人のかざしし なでしこ

の花

巻8-1610



奈良市古市町

穴栗神社

妹が家に 伊久里の杜の

藤の花

今来む春も 常かくし見む

巻17-3952



奈良市山町

円照寺

あしひきの 山行きしかば 山人の

我れに得しめし

山づとぞこれ

巻20-4293



奈良市山町

円照寺

あしひきの 山に行きけむ 山人の

心も知らず 山人や誰れ

巻20-4294



奈良市菩提山町

正暦寺

経もなく 緯も定めず

娘子らが

織る黄葉に 霜な降りそね

巻8-1512



奈良市田原春日野町

ハボト東側

むささびは 木末求むと あしひき

の

山のさつ男に あひにけるかも

巻3-267



奈良市田原春日野町

田原西陵入口

石走る 垂水の上の

さわらびの

萌え出づる春に なりにけるかも

巻8-1418



奈良市二条大路南

市役所

あをによし 奈良の都に たなびけ

る

天の白雲 見れど

飽かぬかも

巻15-3602



奈良市二条大路南

朱雀大路緑地公園

あをによし 奈良の都は 咲く花の

にほふがごとく 今盛りなり

巻3-328



奈良市油阪東町

西方寺

表面

瓜食めば 子ども思ほゆ

栗食めば

まして愚はゆ いづくより

来りしものぞ

まなかひに もとなかかりて 安寐し

寝さぬ

巻5-802



奈良市油阪東町

西方寺

裏面

銀も 金も玉も 何せむに

まされる宝

子にしかめやも

巻5-803



奈良市法連立花町

法連記念公園

「法連町の由来」碑文中

佐保過ぎて 奈良の手向けに 置く幣

は

妹を目離れず

相見しめとぞ

巻3-300



奈良市法連立花町

佐保川堤北側

うち上る 佐保の川原の

青柳は

今は春へと

なりにけるかも

巻8-1433



奈良市法連立花町

夢窓庵

うち上る 佐保の川原の

青柳は

今は春へと なりにけるかも

巻8-1433



奈良市法連立花町

夢窓庵

千鳥なく 佐保の川門の

清き瀬を

馬うち渡し いつか通はむ

巻4-715



奈良市法連町

佐保川堤

月立ちて ただ三日月の 眉根掻き

日長く恋ひし 君に逢へるかも

巻6-993



奈良市法連町

佐保川堤

振り放けて 三日月見れば 一目見し

人の眉引き 思ほゆるかも

巻6-994



奈良市法連町

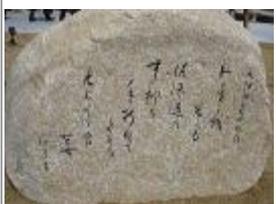
佐保川小学校前「水辺の楽校」

佐保川の 清き河原に

鳴く千鳥

かはづと二つ 忘れかねつも

巻7-1123



奈良市法連町

春日野荘

我が背子が 見らむ佐保道の 青柳

を

手折りてだにも

見むよしもがも

巻8-1432

田村氏 HP の写真借用



奈良市法連町

狭岡神社

君に恋ひ いたもすべなみ 奈良山の

小松が下に 立ち嘆くかも

巻4-593



奈良市池上東町

水上池北東・磐之媛陵南

をみなへし 佐紀沢に生ふる 花か

つみ

かつても知らぬ

恋もするかも

巻4-675



奈良市法華寺中町

法華寺

いにしへの 古き堤は

年深み

池の渚に 水草生ひけり

巻3-378



奈良市北御門町

五却院

水沫なす もろき命も

栲綱の

千尋にもがと

願ひ暮らしつ

巻5-902



奈良市般若寺町

平城山萬葉苑

ぬばたまの 黒髪山の

山菅に

小雨降りしき

しくしく思ほゆ

巻11-2456



奈良市佐保台西町

平城山駅前

佐保過ぎて 奈良の手向けに 置く幣

は

妹を目離れず

相見しめとぞ

巻3-300



奈良市朱雀3丁目

高の原駅内

秋さらば 今も見るごと 妻恋ひに

鹿鳴かむ山ぞ

高野原の上

巻1-84



奈良市右京1丁目

高の原駅前

春日なる 御笠の山に 月も出でぬか

も

佐紀山に 咲ける桜の

花の見ゆべく

巻10-1887



奈良市右京2丁目

平城第二団地西

春日なる 御笠の山に 月も出でぬ

かも

佐紀山に 咲ける桜の

花の見ゆべく

巻10-1887



奈良市菅原町

喜光寺

大き海の 水底深く

思いつつ

裳引き平しし 菅原の里

巻20-4491



奈良市歌姫町

添御県坐神社

佐保過ぎて

奈良の手向けに 置く幣は

妹を目離れず 相見しめとぞ

巻3-300



奈良市西大寺芝町

西大寺・鐘桜前

この里は 継ぎて霜や置く 夏の野

に

我が見し草は

もみちたりけり

巻19-4268



奈良市西ノ京町

がんこ一徹長屋

寺々の 女餓鬼申さく

大神の

男餓鬼賜りて

その子産まはむ

巻16-3840



奈良市西ノ京町

がんこ一徹長屋

相思はぬ 人を思ふは

大寺の

餓鬼の後方に

額つくごとし

巻4-608



奈良市五条町

河川敷公園

沫雪の ほどろほどろに

降りしけば

奈良の都し 思ほゆるかも

巻8-1639



奈良市杏町

辰市神社

東の 市の植木の 木垂るまで

逢はず久しみ

うべ恋ひにけり

巻3-310



奈良市大安寺町

大安寺

うつせみは 数なき身なり 山川の

さやけき見つつ

道を尋ねな

巻20-4468



奈良市登美ヶ丘

松柏美術館

春雨の しくしく降るに 高円の

山の桜は

いかにあるらむ

山吹の 咲きたる野辺の

つほすみれ

この春の雨に

盛りなりけり

巻8-1440・1444



奈良市都祁友田町

都祁水分神社

山辺の 御井を見がてり

神風の

伊勢娘子ども

相見つるかも

巻1-81



奈良市都祁友田町

都祁水分神社

山辺の 御井を見がてり

神風の

伊勢娘子ども

相見つるかも

巻1-81

そのため、

- ①奈良市の万葉歌碑からお気に入りを決める。
  - ②それぞれの歌について調べる。
  - ③それぞれの歌の解説文を読み自分の言葉でまとまる。
  - ④万葉歌碑マップを作る。
- といった順序で学習を進めていきたい。

### (3) 言語活動とその特徴

本単元は、『いにしへの心』をカードに込め、万葉集マップをつくり自分の考えを発信しよう。」という言語活動を位置付けた。その際、歌についての解説文を読み、伝えたいことを整理して書くことにした。また、書くだけでなく「万葉ウォークラリー」をすることで読み手になり、助言し合うことも取り入れた。このことから「目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理すること」(B 書くことア)、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」(B 書くことウ)、「表現の仕方に着目して助言し合うこと」(B 書くことカ)を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。

### (4) ESD の視点の明確化

持続可能な社会づくりの構成概念について

- 身近にある万葉歌碑に関心をもち、歌の意味や歌人のことなどを進んで知ろうとし、ふるさとの良さを紹介しようとしている。  
(関心・意欲・態度)
- 目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、簡単に書いたり詳しく書いたりしながら、事柄を整理することができる。  
(書くこと)
- 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うことができる。  
(書くこと)
- 「万葉歌碑カード」を作ることを通して昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 2 指導計画

次	時	学習内容	指導上の留意点	評価規準と評価方法など
一		<p>○学習の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 『万葉集』について知る。</li> <li>● 万葉歌碑カードのモデルを提示し、学習の見通しをもつ。</li> <li>● ガイドマップを用いて万葉歌碑を紹介するために効果的な事柄を見つけ出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲストティーチャーにきていただき万葉集についてお話を聞く。</li> <li>・ 学習の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>・ 地域のガイドブック・パンフレット等を持ちよりそれぞれの特徴について考えるよう助言する。</li> </ul>	
二		<p>○ 必要となる事柄を収集、整理し、万葉歌碑カードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域にある万葉歌碑の中から万葉歌碑カードにしたいものを選び、文献やインターネットを用いて調べる。</li> <li>● 自分たちの捉えがただしいのかについて質問する。</li> <li>● 調べたことを簡単に書いたり詳しく書いたりしながら事柄を整理し、万葉歌碑カードを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連図書や奈良市のHPを参考にするよう声をかける。</li> <li>・ ゲストティーチャーに来ていただき自分たちの歌に対する解説の捉え方や困っていること分からないこと等について個別に質問ができるようにする。</li> <li>・ 「自分が読んでみたいな」と思うような内容、解説になっているのかについて声かけを行う。</li> </ul>	
三		<p>○ 友達の書いた万葉歌碑カードを読み合い、助言し合うことでよりよいものに作り変える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万葉ウォークラリーで、万葉歌碑カードを発表・助言し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちの万葉カードについて助言する。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"><li>● 助言されたことを参考にし、万葉歌碑カードを完成する。</li><li>● 万葉歌碑カードを用いた万葉歌碑マップを作り、施設に置く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 相手意識をもち作成するよう声をかける。</li><li>・</li></ul>	
--	--	---	---	--